

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2005-223922(P2005-223922A)

【公開日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2005-28454(P2005-28454)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/225

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月20日(2005.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一連の画像を記憶するメモリ・ユニットを含む前記処理ユニットと、
前記処理ユニットからの信号に応答して作動されるシャッターと、
前記シャッターが作動されるとき画像を受信する感光領域であって、前記シャッター上の前記画像が前記メモリ・ユニット内に記憶されるものと、
前記メモリ・ユニットに記憶される画像を表示するディスプレイと、を含むデジタル・カメラであって、
前記デジタル・カメラが有する動作の第1モードにおいて、第1ユーザ入力に応答して所定の時間に前記シャッターが動作され、前記所定の時間中に前記一連の画像が前記ディスプレイ上に表示され、前記ディスプレイが画像被写体にとって見えるものである前記デジタル・カメラ。

【請求項2】

シャッターの作動について目に見えるカウント・ダウンを前記一連の画像が供給する請求項1に記載のデジタル・カメラ。

【請求項3】

前記デジタル・カメラが動作の第2モードを有し、前記第2ユーザ入力に応答して前記シャッターが直ちに作動される請求項1または2に記載のデジタル・カメラ。

【請求項4】

前記ディスプレイが回転可能であり、動作の前記第1モードにおいて前記画像被写体に面するように前記ディスプレイが回転される請求項1乃至3のいずれかに記載のデジタル・カメラ。

【請求項5】

前記一連の画像が一連の数である請求項1乃至4のいずれかに記載のデジタル・カメラ。

【請求項6】

デジタル・カメラにより画像を獲得する方法であって、

第1ユーザ入力信号の後に、所定の時間にわたりシャッターの動作を遅延することと、前記所定の時間にわたり、前記被写体画像に対して一連の画像を前記カメラ・ディスプレイ上に表示することと、を含む前記方法。

【請求項7】

前記一連の画像が前記デジタル・カメラのシャッターの動作のカウント・ダウンを供給する請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記デジタル・カメラが第2動作モードを含み、この第2動作モードにおいて、ユーザ入力によって遅延なしに前記シャッターが作動される請求項6または7に記載の方法。